

粟ノ保小学校 令和6年度 2学期学校評価（教職員）

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

1 教育目標

		R6 2学期				R6 1学期			
No.	評価の観点	A	B	C	D	A	B	C	D
1	児童は、「主体的・対話的に学ぼう」としている。（教育目標）	6	5			6	5		
2	児童は、「心豊かに未来を切り拓こう」としている。（教育目標）	8	3			8	3		
3	児童は、元気に挨拶している。（ひまわり憲法）	4	8			6	5		

（主体的・対話的学び）…「対話って何かな」「対話的に学んでどういう事かな」を子どもと先生、学校全体で合意形成する。
 （あいさつ）…廊下でのすれ違い、2回目の出会いの時にどんな挨拶をするのが難しい。
 校内はよいが、学校以外、または来客へのあいさつが不十分かと思う

2 めざす教職員像

		R6 2学期				R6 1学期			
No.	評価の観点	A	B	C	D	A	B	C	D
1	児童一人一人の理解に努め、鍛えて伸ばそうとしている。	11	0			10	1		
2	豊かな人間性と確かな指導力向上に努めている。	10	1			9	2		
3	児童、保護者、地域住民から信頼されている。	8	4			8	3		

（信頼）…個人的には信頼されているのではないかと思うが、判断するための基準が分からない。

3 確かな学力をはぐくむ

		R6 2学期				R6 1学期			
No.	評価の観点	A	B	C	D	A	B	C	D
1	個別最適な学び・協働的な学びを一体化した授業（単元）の確立に努めている。	6	5			5	6		
2	朝自習や粟Tや暗唱活動の指導に継続的・計画的に取り組んでいる。	10	1			9	2		
3	保護者と連携し宿題等の充実に積極的に取り組んでいる。	7	4			7	4		
4	「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善に努めている。	8	3			10	1		
5	ICT教育・英語教育に計画的に取り組んでいる。	9	2			8	3		
6	chromebookを活用した指導に積極的・計画的に取り組んでいる。	10	1			10	1		

（個別・協働的学び）一斉指導が適したところ、個別最適な学びが適したところなど、しっかり年間計画や単元の内容を踏まえて考えられるようにしていきたい。
 （朝自習・粟T・宿題）…デジタルドリルや活用問題との両立を考えると、習熟プリントは高学年はいらないのかもしれない。
 （ICT活用等）…校内OJT時間の確保ができるとさらに充実できそう

4 豊かな心をはぐくむ

		R6 2学期				R6 1学期			
No.	評価の観点	A	B	C	D	A	B	C	D
1	「考え、議論する道徳」の授業づくりに努めている。	5	6			6	5		
2	学校・学級の課題の解決策を実践することを通して、「主体性」を育てている。	7	4			7	4		
3	児童の人間関係づくりの充実に図り、いじめや不登校の未然防止に取り組んでいる。	10	1			10	1		
4	ベル学・黙働清掃・先挨拶の指導に取り組んでいる。	8	4			8	3		
5	夢や希望を持ちながらがんばる児童の育成に取り組んでいる。	8	3			9	2		

（心・先挨拶指導）…先あいさつの「先」にこだわる必要はそこまでないと思う。「相手にあいさつされるまで待たない」ということを意識させればよいと思う
 （夢・希望）…目標をもつこと、めあてをもつことは大切だと思うので、低学年のころんさんにもめあてを書かせた方がよいと思う。

5 健やかな体をはぐくむ

		R6 2学期				R6 1学期			
No.	評価の観点	A	B	C	D	A	B	C	D
1	「チャレンジカード」「体力アップ!校1プラン」「スポチャレいしかわ」に計画的に取り組んでいる。	9	2			10	1		
2	家庭や地域と連携して、食育・健康教育・安全教育に取り組んでいる。	10	1			9	2		

6 教師集団・開かれた学校

		R6 2学期				R6 1学期			
No.	評価の観点	A	B	C	D	A	B	C	D
1	働き方改革を意識して仕事に取り組んでいる。	5	7			6	5		
2	校務分掌は、組織的、協働的に取り組まれている。	8	5			8	4		
3	若手教員早期育成プログラムや各種校内研修を通して、教師の指導力向上に努めている。	10	1			8	3		
4	学校だよりや学級だよりを通して積極的な情報発信に努めている。	8	3			8	3		

（分掌・協働）…研究部をもっと計画的に動けるようにするために、部会の時間を確保できるようになったらよい。

1学期・「すべては子どもたちの耀く未来のために」組織でがんばりましょう

- ・働き方改革を進めるために、研修や会議を精選する必要があると思う。勤務時間内にできるだけ業務を終えられるように。
(学期末の成績処理の時間確保など)
- ・5限下校の日を計画的につくってもよいのではないかと思う。
- ・効果を見極め、取り組み内容を精選できるとよい。